

ゴマ(品種「にしきまる」)の機械収穫に適した栽培法

利用対象：ゴマ生産経営体、指導機関

県内で最も多く栽培されているゴマ品種「にしきまる」の播種時期と成熟期の関係は安定しており、大規模土地利用型経営体の経営作物との競合を考慮した導入が可能です。

収量の確保に適する播種又は移植時期は5月下旬～6月下旬であり、株間15cm以下の密植が有利です。中耕培土は、耐倒伏性を高めるには十分ではありませんが、機械収穫の作業性を向上するのに有利です。

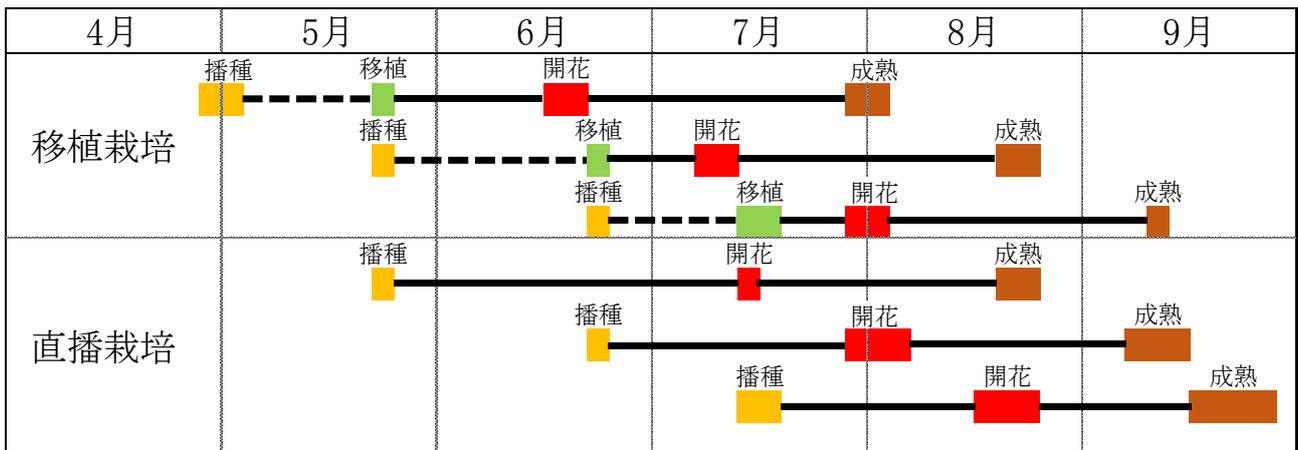


図1. 「にしきまる」の播種及び移植と開花期、成熟期の関係

注) 栽培場所は農業研究所内圃場（松阪市嬉野川北町）、試験年:2017-2019年
 注) 育苗は無加温の硬化ハウスで行い、128穴プラグトレイに育苗培土を充填し1穴1粒播種した。
 注) 栽植密度:条間72cm、株間10-45cm、施肥量:高度化成(14-14-14)を各成分5kg/10a施用
 注) 積算気温はアメダス津観測点の日平均気温の積算(移植日含み黄熟日含まず)

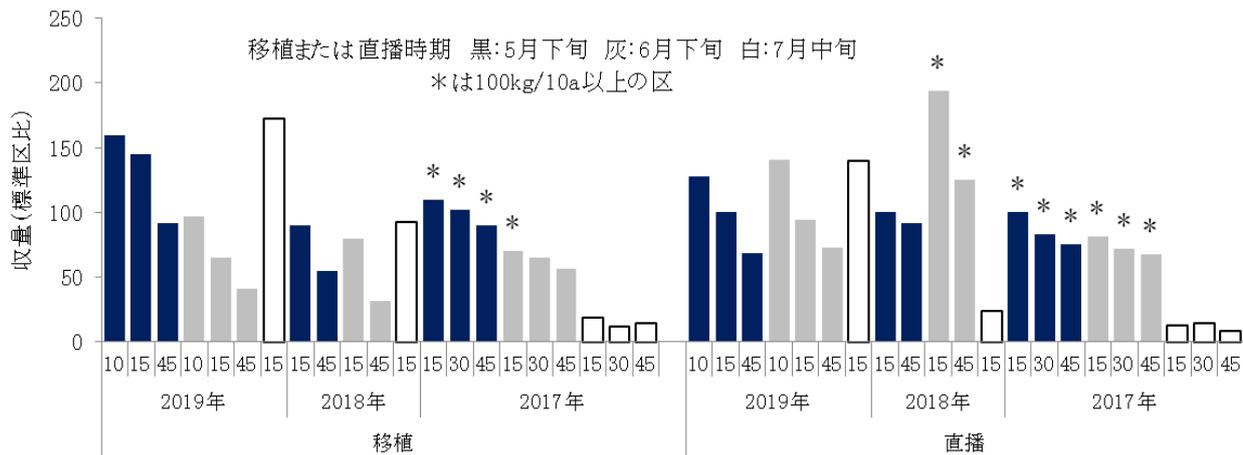


図2. 「にしきまる」の栽培様式、作期、栽植密度と収量の関係

注) 標準区は各年の直播栽培、株間15cm区とした。
 注) 標準区の収量(子実重)は、2017年:152kg/10a、2018年:80kg/10a、2019年:36kg/10a
 注) 軸の項目名は上から株間(単位はcm)、試験年、栽培様式

お問い合わせ先	生産技術研究室農産研究課 田畑茂樹 電話 0598-42-6359 中央農業改良普及センター 磯山繁幸 電話 0598-42-6323
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm